

平成22年11月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年4月7日

上場会社名 株式会社 小島鐵工所

上場取引所 東 名

コード番号 6112 URL <http://www.kojimatekko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 正蔵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 田中 教司

TEL 027-322-1221

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第1四半期の業績(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第1四半期	658	18.2	△94	—	△89	—	△89	—
21年11月期第1四半期	556	—	29	—	36	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第1四半期	△8.90	—
21年11月期第1四半期	0.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第1四半期	3,324	1,091	32.8	108.95
21年11月期	3,766	1,255	33.3	125.35

(参考) 自己資本 22年11月期第1四半期 1,091百万円 21年11月期 1,255百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	—	—	7.50	7.50
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 21年11月期配当金の内訳
普通配当 5円00銭
記念配当 2円50銭

3. 平成22年11月期の業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	1,600	9.9	130	8.3	140	5.3	75	27.1	7.50
通期	3,000	△11.6	270	△36.0	300	△33.9	165	△30.7	16.50

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年11月期第1四半期	10,035,647株	21年11月期	10,035,647株
② 期末自己株式数	22年11月期第1四半期	21,219株	21年11月期	21,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年11月期第1四半期	10,014,428株	21年11月期第1四半期	10,015,066株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当社売上高に関しては、当社の主製品である油圧プレスが、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たり金額もそれぞれ異なる個別受注生産であり、月単位での売上は一定しておりません。

当第1四半期会計期間の売上は、海外向け大型プレス機の納品により、前年同期を上回る6億58百万円を計上することができました。

利益面につきましては、売上の主力を占めた大型プレス機が、当社にとりまして新技術を盛り込んだ開発製品であったことから、生産着手から現地据付まで予期した以上のコストが嵩んだこと等により不本意ながら89百万円の純損失となりました。

しかしながら、次の第2四半期・中間期におきましては、良質物件の売上が約10億円予定されており、外注管理の強化を始め原価及び経費見直しを更に徹底することにより、第1四半期損失を吸収し、黒字化を見込んでいくところであります。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態については、前事業年度に比べ資産合計は、現金及び預金は1億93百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が4億82百万円及び仕掛品が2億2千万円減少したため総体的には4億41百万円減少し、33億24百万円となりました。

負債合計は、2億77百万円減少し、22億33百万円となりました。これは主として、短期借入金については4億41百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が2億88百万円、未払法人税等が1億46百万円及び前受金が3億77百万円減少したことによります。

純資産は、前期末に比べ1億64百万円減少しました。これは利益剰余金1億64百万円減少によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

現時点での業績予想につきましては、平成22年1月19日に発表した内容に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 端数処理について

当社の四半期財務諸表に掲記される科目、その他の事項の記載金額については、当第1四半期会計期間より表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

なお、前事業年度及び前第1四半期累計期間については表示単位未満の端数を四捨五入して掲載しています。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,328,690	1,134,711
受取手形及び売掛金	538,225	1,021,022
原材料	11,520	13,265
仕掛品	403,019	623,931
その他	25,410	11,326
貸倒引当金	△4,300	△4,900
流動資産合計	2,302,567	2,799,355
固定資産		
有形固定資産	932,302	939,826
無形固定資産	63,546	1,200
投資その他の資産	25,918	25,944
固定資産合計	1,021,768	966,970
資産合計	3,324,335	3,766,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	594,650	883,637
短期借入金	799,592	358,463
未払法人税等	9,801	156,360
前受金	460,546	838,219
賞与引当金	21,300	—
その他	111,916	102,360
流動負債合計	1,997,806	2,339,039
固定負債		
退職給付引当金	70,947	70,948
その他	164,512	101,033
固定負債合計	235,460	171,981
負債合計	2,233,267	2,511,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,782	501,782
資本剰余金	5,373	5,374
利益剰余金	585,878	750,101
自己株式	△3,476	△3,476
株主資本合計	1,089,558	1,253,781
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,509	1,524
評価・換算差額等合計	1,509	1,524
純資産合計	1,091,067	1,255,305
負債純資産合計	3,324,335	3,766,325

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
売上高	556,735	658,282
売上原価	455,948	688,925
売上総利益又は売上総損失(△)	100,787	△30,643
販売費及び一般管理費	71,589	63,910
営業利益又は営業損失(△)	29,198	△94,554
営業外収益		
受取利息	3	8
受取賃貸料	15,588	15,588
その他	154	1,584
営業外収益合計	15,745	17,180
営業外費用		
支払利息	749	4,602
不動産賃貸費用	7,692	7,137
その他	32	—
営業外費用合計	8,473	11,740
経常利益又は経常損失(△)	36,470	△89,113
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	36,470	△89,113
法人税等	16,400	—
過年度法人税等	13,521	—
法人税等合計	29,921	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,549	△89,113

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。